



2016年1月18日

各位

会社名 鳥居薬品株式会社
代表者名 代表取締役社長 高木 正一郎
(コード番号 4551 東証第一部)
問合せ先 経営企画部 (TEL 03-3231-6814)

平成27年12月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2015年10月30日に公表した平成27年12月期通期業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成27年12月期の通期業績予想数値の修正 (平成27年1月1日～平成27年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 61,300	百万円 4,000	百万円 4,200	百万円 2,600	円 銭 91.87
今回発表予想 (B)	62,370	4,910	5,130	3,520	124.38
増減額 (B - A)	1,070	910	930	920	
増減率 (%)	1.7	22.8	22.1	35.4	
(ご参考) 平成26年1～12月 累計実績 (注)	58,089	5,033	5,168	3,394	

(注) 当社は、平成26年12月期から、決算期を毎年3月31日から毎年12月31日に変更しております。従いまして、参考として平成26年1月1日から12月31日までの12ヶ月情報 (※) を記載しております。

※12ヶ月情報=平成26年3月期第4四半期実績 (12ヶ月) -平成26年3月期第3四半期実績 (9ヶ月)
+平成26年12月期実績 (9ヶ月)

2. 修正の理由

売上高は、主力品である「ツルバダ配合錠 (抗 HIV 薬)」「スタリビルド配合錠 (抗 HIV 薬)」並びに「リオナ錠 (高リン血症治療剤)」の販売が好調に推移したこと等から前回発表予想を上回る見通しとなりました。営業利益並びに経常利益につきましては、売上高の増加の他、販売費の節減に取り組んだ効果等により前回発表予想を上回る見通しとなりました。当期純利益につきましては、経常利益の増加に加え、特別利益に土地売却益を計上したこと等により、前回発表予想を上回る見通しとなりました。

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は本予想数値と異なる場合があります。

以上